

第2回岐阜支部研修会・市民公開講座 活動報告

日時：平成28年7月17日(日) 10:30~12:00

場所：岐阜県図書館(1階多目的ホール)

講師：名古屋医専 酒向 俊治 教授

司会：岐阜保健短期大学 池田 雅志 先生

岐阜支部は、本年の理学療法週間全国一斉イベントにおいて、去年に続き研修会と市民公開講座を合同開催しました。今年は、去年実施された研修会のアンケートから、日常生活に結びついた疑問から、歩くために必要な足の機能にターゲットを当て、靴の研究開発に携わられている酒向俊治教授をお招きしました。テーマは、「足(底)は口ほどにものを言う」と題して、足底の形態が、健康ライフと脳、特に小脳の働きに関連しているとの講座内容でご講話いただきました。当日は、悪天候による突然の大雨の中、89名の参加者が聴講されました。足圧測定を体験し、有名マラソン選手の足底と見比べることもでき、内容の濃い講座が実施できました。

講座に対するアンケートも、「足についてたくさん知ることができた」、「実際の医療現場で使われている靴について改めて学ぶ機会を頂きました」、「ウォーキングの歩数が疾患予防につながり小脳にも繋がる新たな発見ができた」等、満足度の高い感想を頂き、「健康の考え方を再度意識づけできた」、「小学校の内履きシューズはどうしてバレエシューズなのかが気になりました」など、今回の講座から発展した疑問を述べる参加者も見えました。運営について、「参加者が少なく残念。アピールが不足している」、「生活に結びついた運動有効性などの講演を繰り返し実施してほしい」など、今後の要望についても意見を頂く事ができました。次年度も、理学療法週間でより多くの市民の方に対して理学療法を知る機会を増やせるよう応えていくことが大切と考えます。



平成28年7月18日(月) 岐阜新聞 朝刊